

2025年9月期 通期決算説明資料

株式会社ミライロ（東証グロース:335A）



会社概要

1. 会社概要

p2

2. 2025年9月期 通期決算ハイライト

p26

ミライロについて①

代表取締役社長
垣内俊哉



企業理念



社 名	株式会社ミライロ
設 立	2010年6月
事 業	①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営 ②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供
拠 点	大阪本社（大阪市淀川区西中島三丁目8番15号） 東京支社（東京都品川区東五反田五丁目26番5号）

ミライロについて②

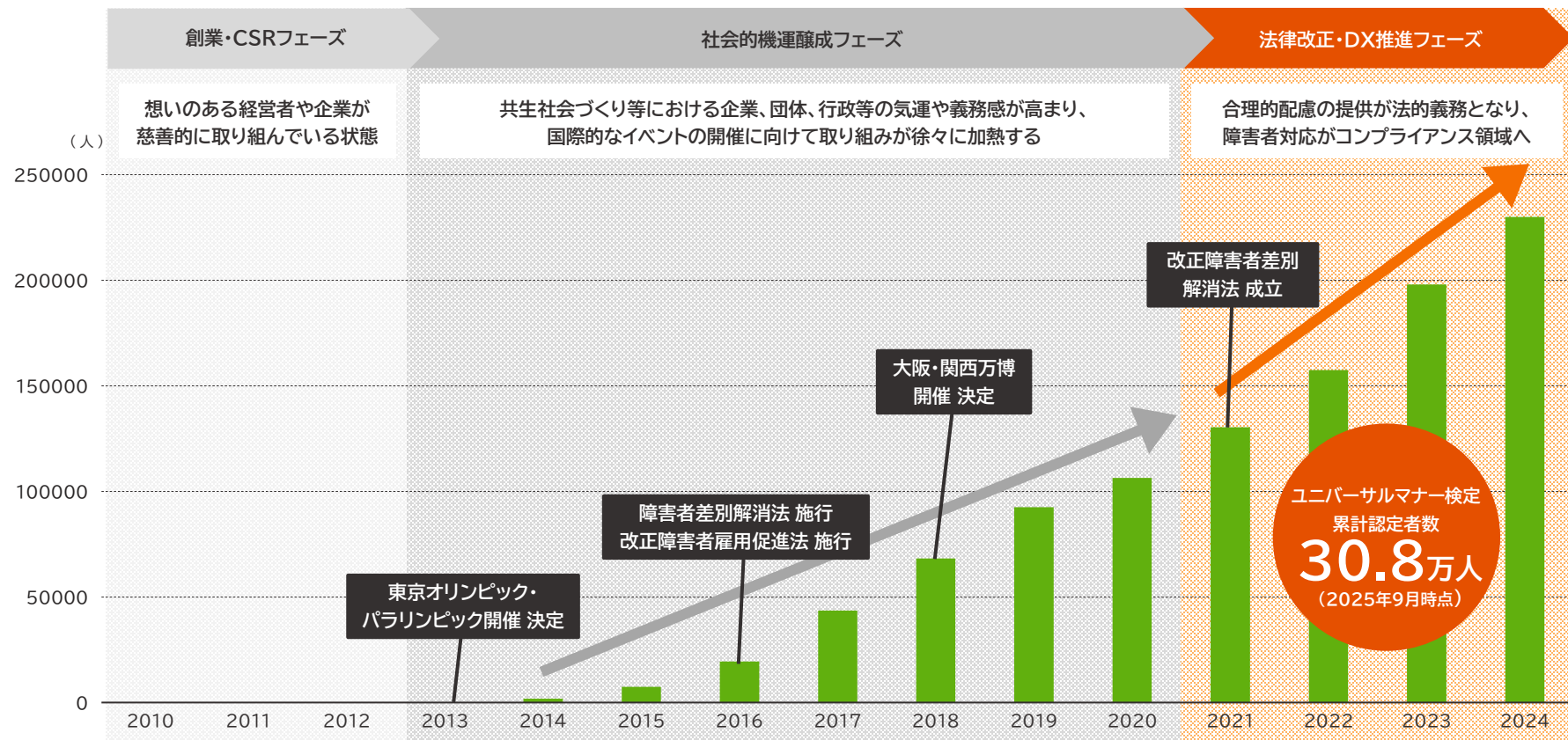
受賞歴	
2018年2月	Japan Venture Awards 2018 経済産業大臣賞 受賞
2018年2月	関西財界セミナー賞 2018 特別賞 受賞
2020年11月	J-Startup KANSAI 選定
2021年10月	デジタル社会推進賞
2022年1月	財界・経営者賞 受賞
2022年1月	経済界・金の卵発掘プロジェクト2021グランプリ 受賞
2022年10月	グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	PRIDE指標 最高評価 ゴールド 6年連続受賞
2023年4月	知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞
2023年6月	日本スタートアップ大賞2023 厚生労働大臣賞 受賞
2025年7月	日本DX対象2025 優秀賞 受賞

関連団体
一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（ユニバーサルマナー検定の認定）
民間事業者による合理的配慮推進委員会（運営事務局）

主な株主（五十音順 2025年9月時点）
大阪市高速電気軌道株式会社
花王株式会社
京王電鉄株式会社
さくらインターネット株式会社
住友林業株式会社
西武鉄道株式会社
株式会社ゼンリンデータコム
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社三菱UFJ銀行
ヤマトホールディングス株式会社

株主数
5,973名（2025年9月時点） 2025年3月時点から2,600名以上の増加

ミライロについて③

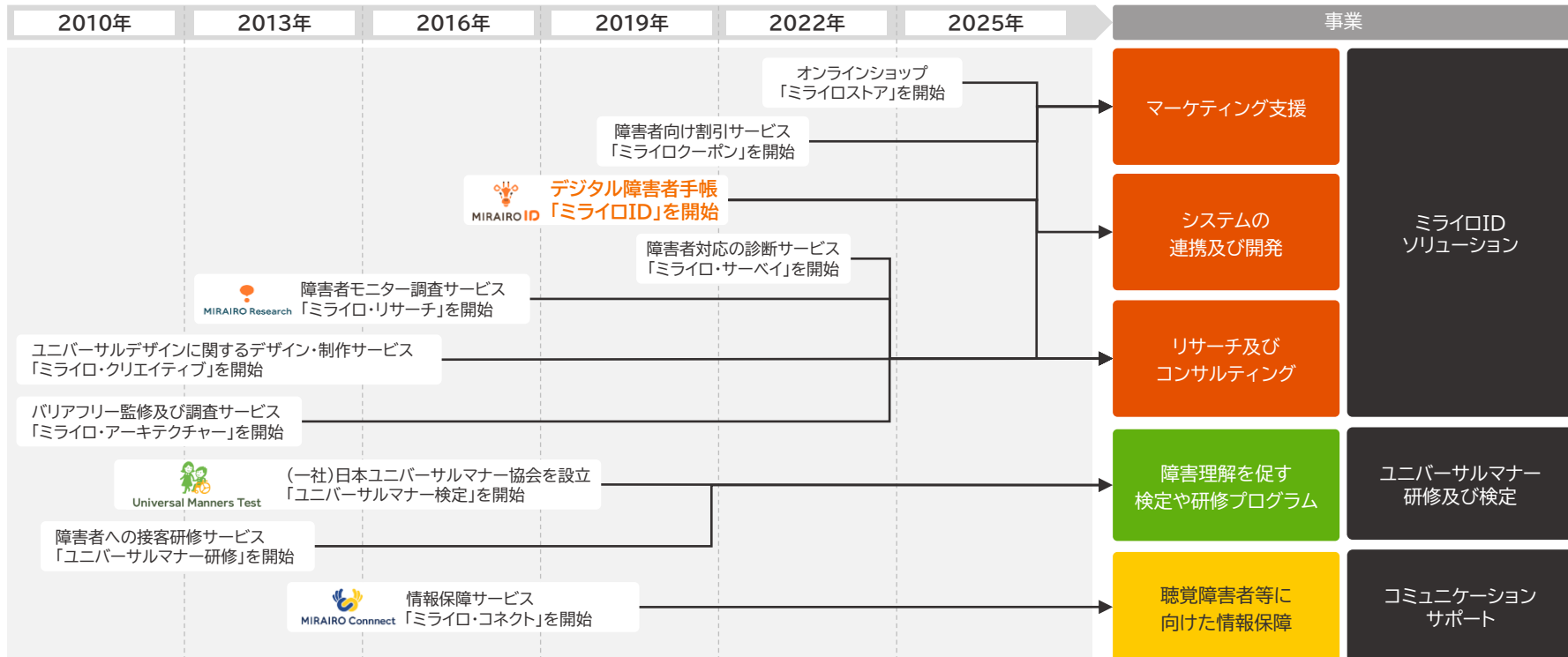




社会に存在する「環境・意識・情報」のバリアを解消し、価値に変える

ソリューションの変遷

創業以降、障害のある当事者視点を活かし、環境、意識、情報のバリア解消に繋がるソリューションを生み出し続ける。
ミライロIDをリリース後は、障害者プラットフォームを活かした事業モデルに集約を進め、より高付加価値な事業に変化。



ソリューションの特徴と価値

障害のある顧客や従業員の対応など、社会的なバリアの解消に向けた複合的なソリューションを保有。
ミライロIDによる障害者プラットフォームを軸に、専門的知見やシステムも駆使することで高い限界利益率を実現。

事業		特徴	提供価値
ミライロID ソリューション	マーケティング支援	・ 障害者プラットフォームへの広告やクーポンの配信、製品の販売などが可能 ・ クローズドマーケットに対して、独自の割引設定やパーソナルデータを活かしたアプローチが可能	・ 企業姿勢の発信やブランディング ・ 潜在的な市場や顧客の新規開拓・売上増
	システムの 連携及び開発	・ デジタル化された障害者手帳情報を用いたAPI連携や連携に向けたシステム開発を実施 ・ 従来紙での対応が必須であった障害者情報の認証や割引対応、連携によるアプリ間送客も可能	・ オペレーションコストの低減 ・ デジタルを用いた法令遵守対応
	リサーチ及び コンサルティング	・ 国内最大規模の障害者データを活かした定量・定性的なリサーチやコンサルティングを実施 ・ 法定対応に対する現状把握のためのサーベイや環境整備に向けたコンサルティング対応	・ 潜在的なニーズ把握 ・ 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応
ユニバーサルマナー 研修及び検定	障害理解を促す検定 や研修プログラム	・ 障害理解において国内最多となる30.8万人の認定者数※2と高い満足度の検定プログラム ・ 業界特化型など独自のプログラムを開発 ・ eラーニングや現地派遣など多様な受講形式	・ 行動変容によるCS向上や雇用率の改善 ・ 法令違反や風評被害等のリスク低減
コミュニケーション サポート	聴覚障害者等に 向けた情報保障	・ 遠隔での手話通訳サービスや手話・文字通訳者の現地派遣など、多様な情報保障サービスを提供 ・ 専門性を有する多数の手話通訳者や文字通訳者が在籍	・ 聴覚障害者の仕事のパフォーマンス向上 ・ 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応

※1 事前的改善措置とは、施設のバリアフリー化、意思表示やコミュニケーションを支援するためのサービスや人的支援、情報アクセシビリティの向上など、環境の整備のことです。

※2 当社調べ。人数は2025年9月時点の累計認定者数。

障害者と社会を繋げるライフプラットフォーム「ミライロID」



障害者手帳を「紙」から「デジタル(ミライロID)」へ

障害者の移動や生活をもっと便利に、もっと自由に。



手帳代替



情報配信



ECストア



クーポン



マップ



チケット



情報連携

事業者の課題



292種類のフォーマット

事業者・障害者の課題



紛失や個人情報の漏洩リスク

障害者の課題



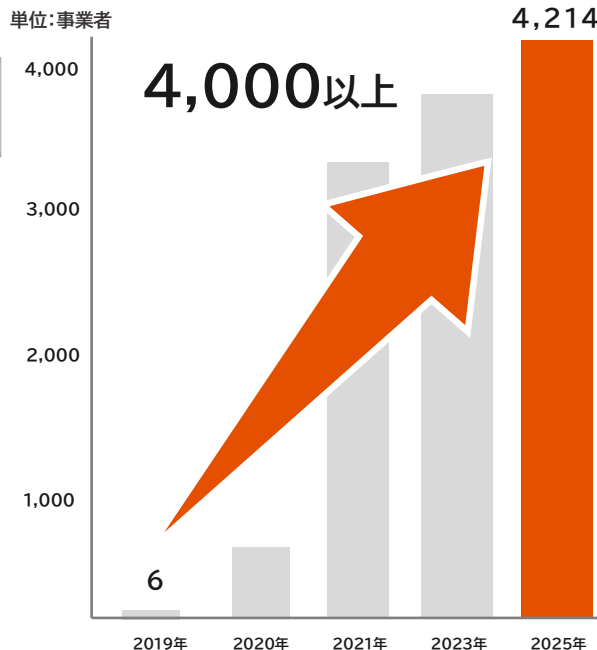
手帳提示による心理的負担

社会との連携により広がる共感の輪



マイナポータル連携により公的な信頼を得られたこと等がきっかけとなり、鉄道をはじめとする障害者割引を有する企業での導入が急拡大。継続的に官公庁とも連携し、アプリの認知を拡大。

▼導入事業者数の推移



▼ミライロIDのこれまでの歩み

- 18年7月 障害者手帳の電子化に向けた検討を開始
- 19年1月 国土交通省:交通事業者への現物確認不要の通知が発出
- 19年7月 ミライロIDのiOS、Android版を同日リリース
- 20年6月 内閣官房:マイナポータルとミライロIDが連携
- 20年6月 内閣官房:事業者へのミライロIDの導入推奨の通知が発出
- 20年10月 鉄道局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年3月 JR各社を含む全国鉄道会社123社がミライロIDを採用
- 21年4月 自動車局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年7月 障害者割引価格のオンラインチケットの提供を開始
- 21年7月 内閣官房:事業者へのオンライン予約の障害者対応を要請する通知が発出

ミライロIDのユーザー数と特徴

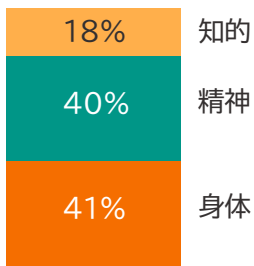
2025年にユーザー数は55万人を突破し、毎月約1万人のペースで増加を続ける。

障害者の人口統計と比較して20～50代のユーザーが多い傾向にあり、外出頻度が高く、企業に勤める障害者の割合も高い。

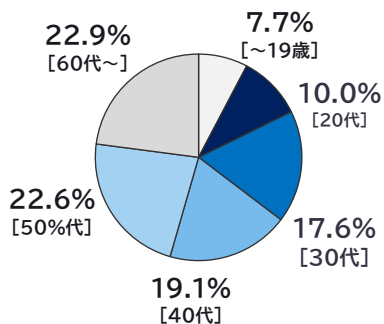
▼ユーザー数の推移



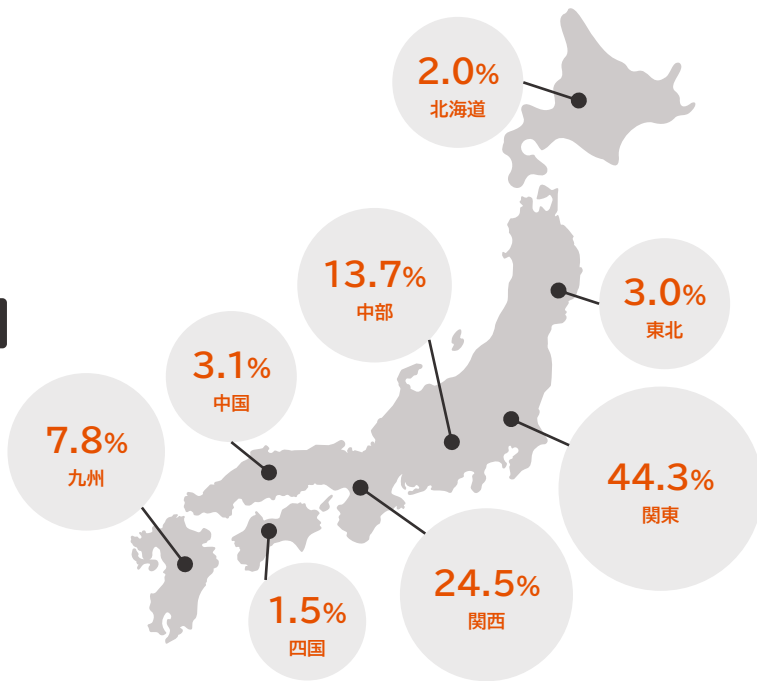
手帳種別



年齢



エリア分布



ミライロIDの3つの強み

類似アプリが存在しない 大規模な障害者 プラットフォーム

- マーケティング活用の広がり
- 先行した行政や企業との連携、特許による参入障壁の高さ

デジタル上のあらゆる 障害者対応の 必須ツール

- 障害者の本人認証の簡素化
- 障害者割引決済の円滑化

創業来培ってきた 専門的ソリューション との連動

- 専門的知見と当事者データに基づくコンサルティングやシステム開発

ミライロIDソリューションについて

デジタル障害者手帳「ミライロID」のプラットフォームやデータベースを基盤としたソリューションを提供。
アプリによる直接的サービス提供、システム連携によるサービス提供、データ等を基にしたコンサルティングを実施。



マーケティング支援の取り組み事例



- 1 株式会社ナイキジャパン
ユーザー限定の先行販売や
クーポン提供



- 2 株式会社日本HP
障害者手帳特別割引の適用



- 3 株式会社ファミリーマート
創立40周年に合わせた
クーポン提供



- 4 ロイヤルホールディングス株式会社
「ROYAL DELI」の
ミライロストアへの出品



- 5 株式会社ジンズ
ECサイトと店舗での
クーポン提供



- 6 WHILL株式会社
レンタルや購入時の
クーポン提供

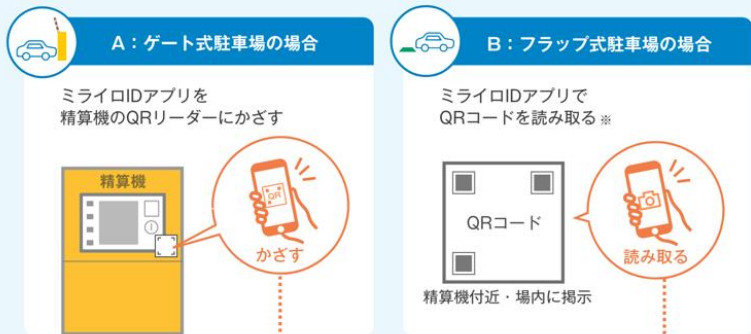
多くの企業がDE&Iやサステナビリティも意識したマーケティングやブランディングへの取り組みを強化

システムの連携及び開発の事例



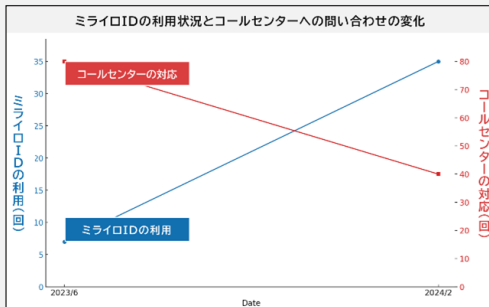
障害者手帳の情報を保有している利点を活かし、障害者割引に関する「決済」の円滑化を実現。ミライロIDと精算機管理サーバーとの連携により、障害者手帳情報を自動適用し、割引料金での支払を可能に。

ミライロIDと駐車場精算機の連携イメージ



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

- これまで目視確認や遠隔で確認をすることで起きていた不正利用の防止や対応時間の削減
- ミライロIDの利用増加に伴い、コールセンターへの問い合わせは50%減少
- 自治体からの希望する声も増加しており、他の駐車場管理事業者との連携も進行中



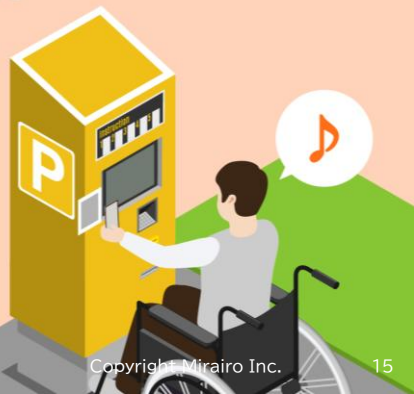
BEFORE

係員がいないと
障害者割引を
受けられない



AFTER

無人でも
障害者割引を
受けられる



システムの連携及び開発の事例

アプリ間の連携により、障害者割引に対応したチケット購入などの決済における課題の解消、独自の割引適用によるマーケティングやブランディング活用、職場における障害者情報の管理の円滑化など、多岐にわたる活用事例を創出。



- JR四国のチケットアプリ「しこくスマートえきちゃん(スマえき)」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、**障害者割引を適用したきっぷの購入が可能に**。

鉄道事業者初！ミライロIDとの連携により「JR四国のチケットアプリで障害者割引きっぷの購入が可能に！2024年11月18日よりサービスを開始します

2024.11.13(水) 全国各駅、ミライロID



- デジタル社員証の社員情報とミライロIDの障害者情報の紐づけにより、働きやすい職場環境づくりを実現。
- 障害のある社員への**福利厚生や職場での孤立化の防止につながる取り組み**へ。

デジタル障害者手帳「ミライロID」と社員IDを連携し、障害者手帳の効率的な管理を実現！一障害のある社員が働きやすい環境づくりを推進します

2024.07.20(水) 全国各駅、ミライロID



- 日本コカ・コーラが提供する公式アプリ「Coke ON」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、「**Coke ON 障がい者割引**」の適用が可能に。



リサーチ及びコンサルティング

ミライロIDの障害者ネットワークを活かしたリサーチ及びコンサルティングを提供。
製品やサービスの開発、市場調査など、目的や規模感に応じた様々な調査が可能。

▼サービスイメージ



在籍モニター例

肢体不自由

- 程度 (下肢障害、上肢障害など)
- 状況 (等級・先天性/後天性など)
- 補助器具 (手動/電動車いす・装具など)

視覚障害

- 程度 (全盲・弱視など)
- 状況 (等級・先天性/後天性など)
- 補助器具 (白杖、半眼鏡、盲導犬など)
- 利用機器 (iPhone / Android など)

聴覚障害

- 程度 (全ろう・難聴など)
- 状況 (等級・先天性/後天性など)
- 補助器具 (補聴器、聴導犬など)
- 手段 (手話、口話、筆談など)

▼リサーチ手法

定量調査(Webアンケート)

数値や量で表せるデータを集計して分析する方法



定性調査(インタビュー・ワークショップ等)

言動などの質的データを集計して分析する方法



障害者の声を企業や社会へ届けると同時に、障害者の社会参画に貢献

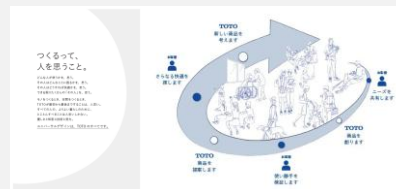
リサーチ及びコンサルティングの取り組み事例



- ① 株式会社ローソン銀行
ATMの新型機を開発



- ② ロート製薬株式会社
製品のユーザビリティ改善を実現



- ③ TOTO株式会社
新しいUDコンセプトを開発



- ④ 株式会社ナイガイ
くつした開発のイノベーションを実現



- ⑤ ココヨ株式会社
ダイバーシティオフィスの開発を実現

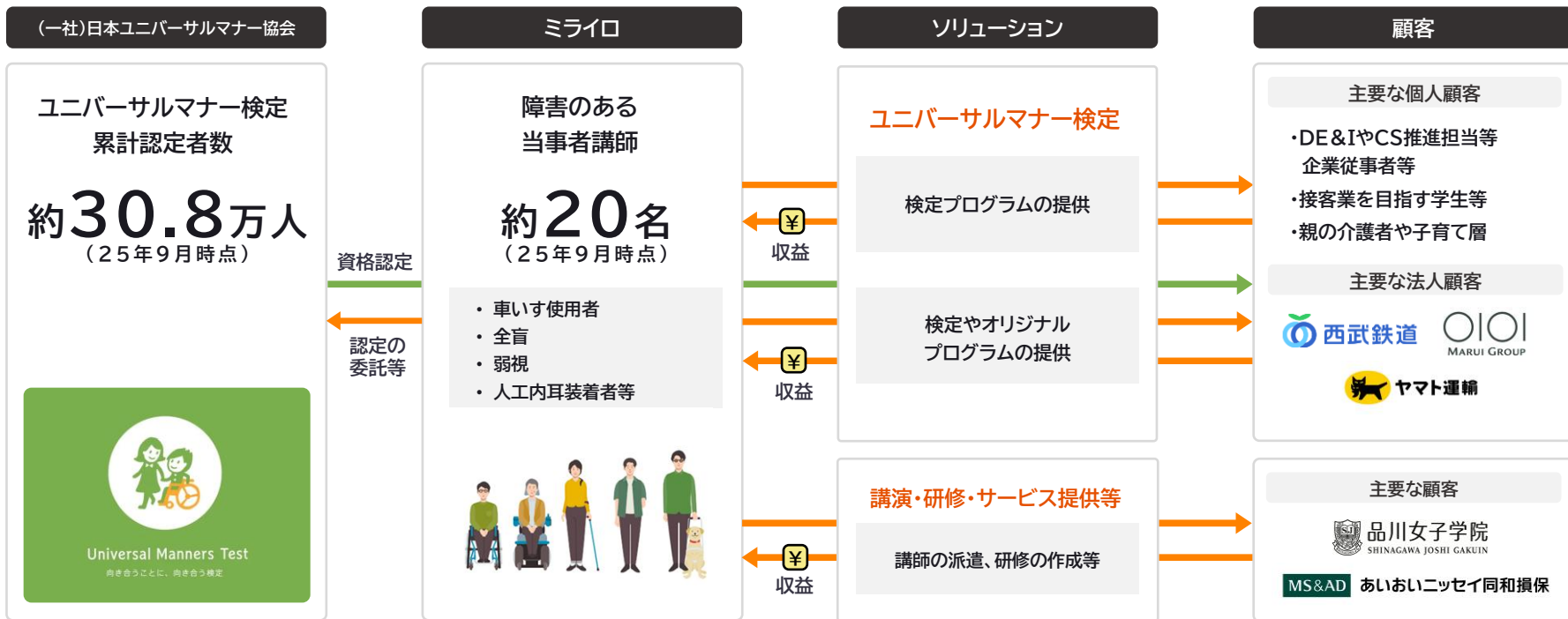


- ⑥ 野村不動産株式会社
施設のユニバーサルデザインガイドを策定

ニーズが反映されてこなかった人々も巻き込んだ製品開発や施設づくり

ユニバーサルマナー研修及び検定について

障害のある当事者の視点から、障害者など多様な方々に対する理解促進や対応方法のレクチャーを実施。
法律や当事者心理の理解による接客時や職場のリスク軽減に加えて、資格を企業姿勢の発信としても活用が可能。
プログラムや講師への高い満足度により、検定売上の6割が定期発注(過去2事業年度以内の継続発注)によるリピート売上。



ユニバーサルマナー検定について

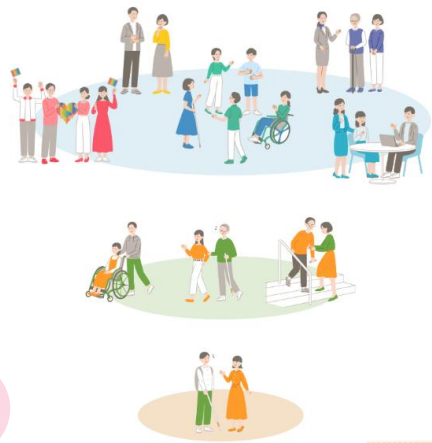
障害理解の促進と行動変容を促すプログラム

- 「ユニバーサルマナー」とは、多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションのことを指す当社が作成した造語
- 「ハードを変えることができなくても、ハートは今すぐ変えられる。」というコンセプトを軸に、障害者や高齢者など、多様な顧客や従業員との向き合い方を伝えるプログラムを展開
- 検定プログラムは、3級～1級のカリキュラムに加えて、業界や職種に合わせたオリジナルのプログラム作成も実施

満足度 98% ※

認定者数 30.8万人
(25年9月時点)

導入企業数 1,100社
(25年9月時点)



ユニバーサルマナー検定3級の概要

ユニバーサルマナーとは／人との違い／障害の社会モデル／障害者や高齢者の生活・心理／基本姿勢

障害は、人ではなく環境にある

障害者とは、障害を持つ人だけではなく、モノや環境が生活の障害になっている人。

課題を解決するには自身の側に変化が必要なこと気づく

押し付けではなく、選択肢を！

障害のある当事者から多様な人々との向き合い方を学ぶ

100点満点を目指さない

常に、歩み寄っていく姿勢を持ち、できることを、できる範囲で行動する。

一歩踏み出すことの不安を取り除き心のブレーキを外す

特別な知識や、高度な技術は不要。誰もが身に付けていて、当然の領域。

違いの理解が進み、高い確率で行動変容が起きる

目的	社内の意識醸成と行動変容
時間	1.5時間
形式	eラーニング／オンライン／対面
講師	障害のある当事者講師
対象	すべての方(役員／管理職／従業員)
費用	受講料:5,000円(税別)/1人 運営管理費:5,000円(税別)/1回



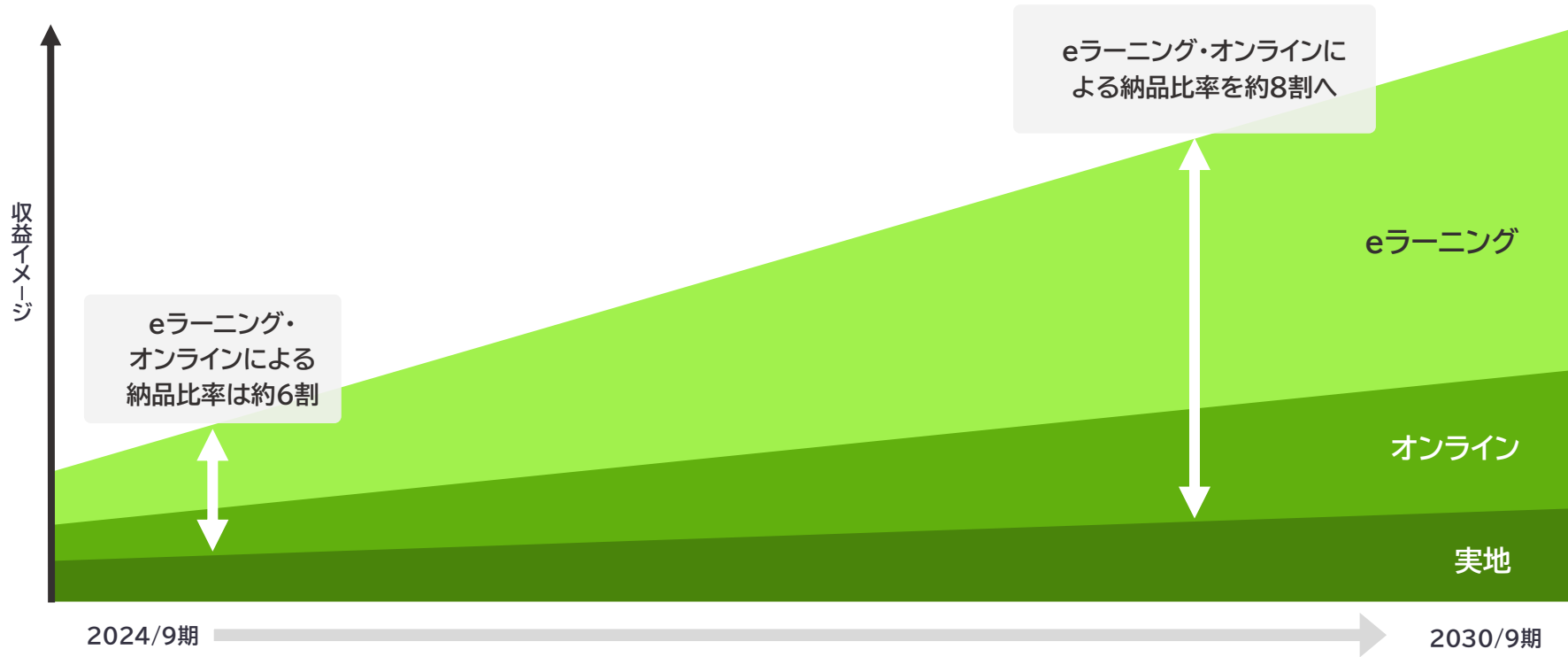
※ 個人向けユニバーサルマナー検定の受講者約5,500名(2023年10月～2024年6月受講者)に対する当社アンケートにおける満足度の回答結果

ユニバーサルマナー検定の導入企業 ※2025年9月時点

銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社りそなHD 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	自動車 トヨタ自動車株式会社 三菱自動車株式会社 日野自動車株式会社 ダイハツ工業株式会社 株式会社ブリヂストン	百貨店 株式会社三越伊勢丹HD 株式会社高島屋 株式会社大丸松坂屋百貨店 株式会社阪急阪神百貨店 株式会社丸井グループ	メーカー 花王株式会社 コクヨ株式会社 株式会社ワコール 株式会社マダモ ソニーマーケティング株式会社
生命保険 第一生命保険株式会社 日本生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 大同生命保険株式会社	鉄道 西武鉄道株式会社 京王電鉄株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社 阪急電鉄株式会社 京阪電気鉄道株式会社	コンビニ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社ローソン 株式会社ファミリーマート	製薬・薬局 塩野義製薬株式会社 ウエルシア薬局株式会社 株式会社コクミン 株式会社トモズ 株式会社メディカルシステムネットワーク
損害保険 東京海上日動火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 SOMPOホールディングス株式会社 アクサ損害保険株式会社	不動産・住宅 三井不動産株式会社 三菱地所株式会社 東急不動産株式会社 大和ハウス工業株式会社 住友林業株式会社	飲料・食品 アサヒビールHD株式会社 サッポロHD株式会社 森永乳業株式会社 ロイヤルHD株式会社 株式会社モスフードサービス	その他 株式会社ファーストリテイリング 株式会社ダスキン セコム株式会社 ヤマト運輸株式会社 鴻池運輸株式会社

ユニバーサルマナー検定の提供形式別の売上割合

eラーニングとオンラインを合わせた売上比率は約6割。階層や職種に合わせ、提供形式を柔軟に対応しつつ、中長期的にはシステムによる納品比率の増加により、さらなる利益率の向上を目指す。



ユニバーサルマナー研修及び検定の取組事例



- ① 住友林業株式会社
全社員でユニバーサルマナー検定を取得



- ② ヤマト運輸株式会社
グループ独自のオリジナル検定を共同開発



- ③ 西武鉄道株式会社
鉄道事業者向けのオリジナル検定を共同開発



- ④ 株式会社東京ドームホテル
全スタッフの意識改革を実現

ユニバーサルマナーを通じて、多様性理解と行動変容を起こす

コミュニケーションサポートについて

聴覚・言語障害者の方々が社会参加しやすいように、手話や文字通訳等の情報保障サービスを提供。
システムを用いた遠隔での通訳対応に加えて、イベント、会議、研修など、様々な場面への通訳者の派遣も実施。



 収益分類: ①スポット収益(単発の通訳者派遣、初期費用等) ②リカーリング収益(サービス利用料等) ③トランザクション収益(従量課金等)

情報保障の提供

聴覚障害者の53%が企業の情報保障に不満を持っており※、手話や文字による情報保障を提供することで、聴覚障害者の希望と企業対応におけるギャップを解消し、希望に沿った情報保障を提供することが求められる。



● 聴覚障害者の希望する情報保障と企業対応のギャップ

コミュニケーション手段	聴覚障害者の希望	企業の対応
手話通訳	59.3%	27.2%
自動音声認識システム	59.3%	39.5%
文字通訳	39.5%	8.6%
筆談	39.5%	56.8%
口話	23.5%	49.4%

cf.ミライロ「聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」令和3年

内容



手話・文字通訳派遣
(導入例)

会議/研修/面接/
イベント等



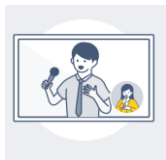
手話リレーサービス
(導入例)

金融機関のコール
センター等



遠隔手話通訳
(導入例)

行政窓口/
医療機関等



動画字幕や手話挿入
(導入例)

研修動画/サービス
紹介動画等



ツールの導入
(導入例)

社内会議/研修/
イベント

要件

目的	聴覚障害者とのコミュニケーション支援
通訳	手話／文字
形式	現地／オンライン
担当	手話通訳者／文字通訳者
備考	音声文字化アプリ等のツール導入支援も可

2025年9月期 通期決算ハイライト

1. 会社概要

p2

2. 2025年9月期 通期決算ハイライト

p26

2025年9月期 通期 業績ハイライト

2025年9月期 通期(2024年10月～2025年9月)における実績。各事業ともに成長を続けることで、売上高、売上総利益、営業利益、経常利益が過去最高を更新。先行した支出の増加に伴い、利益面においては特に予算比を下回る結果に。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
832百万円	557百万円	142百万円	123百万円	81百万円
前年比 予算比	前年比 予算比	前年比 予算比	前年比 予算比	前年比 予算比
117.3% 94.5%	121.1% 95.6%	121.6% 77.1%	101.4% 75.1%	45.6% 77.7%

業績概要
トピックス

- ・ 売上高、売上総利益、営業利益、経常利益が過去最高を更新
- ・ 経常利益は上場関連費用により横ばい、当期純利益は税効果会計の影響により減益
- ・ ミライロIDのユーザー数が順調に増加し、プラットフォームを活かした収益も向上
- ・ 業界別のユニバーサルマナー検定の受講拡大や新たな業界での構築が進行

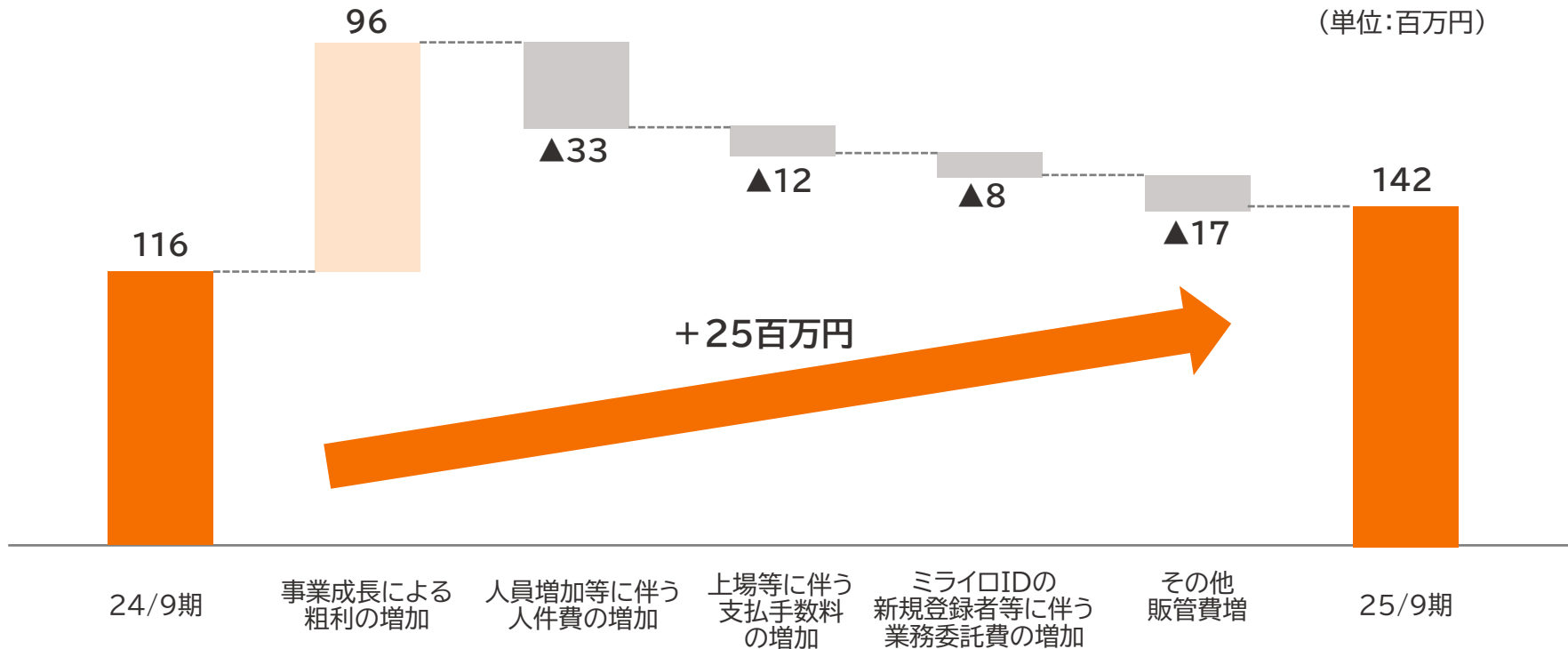
損益計算書(2025年9月期 通期累計)

前年比で売上高は117.3%、売上総利益は121.1%の成長。ユニバーサルマナー研修及び検定事業が最も成長を牽引するものの、障害者差別解消法改正後の追い風が一段落したことで、法人顧客向けの検定導入数が不足し、予算比では90.8%に留まる。

(単位:千円)	2024年9月期		2025年9月期			
	実績	構成比	実績	構成比	予算比	前期比
売上高	709,561	100.0%	832,291	100.0%	94.5%	117.3%
ミライロIDソリューション	238,326	33.6%	276,155	33.2%	94.1%	115.9%
ユニバーサルマナー研修及び検定	298,331	42.0%	364,370	43.8%	90.8%	122.1%
コミュニケーションサポート	172,903	24.4%	191,766	23.0%	102.9%	110.9%
売上原価	249,399	35.1%	275,131	33.0%	92.4%	110.3%
売上総利益	460,162	64.9%	557,160	66.9%	95.6%	121.1%
販売費及び一般管理費	343,300	48.4%	415,034	49.9%	104.1%	120.9%
営業利益	116,861	16.5%	142,125	17.1%	77.1%	121.6%
経常利益	121,334	17.1%	123,006	14.8%	75.1%	101.4%
当期純利益	178,857	25.2%	81,472	9.8%	77.7%	45.6%
EBITDA(営業利益+減価償却費+敷金償却)	145,182	20.5%	174,162	20.9%	80.2%	120.0%

営業利益の増減要因

各事業の成長に伴い、売上総利益は96百万円の増加。事業成長及び管理体制の強化に伴う人員の確保や上場に関連した支出の増加、ミライロIDのさらなる登録者増加に伴う先行した販管費の支出が発生するものの、営業利益は前年比で25百万円の増加。



貸借対照表(2025年9月期末)

株式上場に伴う新株発行等により現金及び預金が482,254千円、純資産が544,895千円増加。

1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の返済を実行したことにより、負債合計は73,734千円の減少。

(単位:千円)	2024年9月期	構成比	2025年9月期	構成比	前期末比増減
流動資産	538,854	76.9%	1,025,478	87.5%	+486,624
現金及び預金	421,763	60.2%	904,017	77.1%	+482,254
売掛金	86,541	12.4%	97,947	8.4%	+11,406
固定資産	161,963	23.1%	146,500	12.5%	△15,463
ソフトウェア	56,811	8.1%	71,710	6.1%	+14,899
繰延税金資産	58,465	8.3%	35,378	3.0%	△23,087
資産合計	700,818	100.0%	1,171,979	100.0%	+471,161
流動負債	232,559	33.2%	237,992	20.3%	+5,432
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	129,188	18.4%	109,748	9.4%	△19,440
固定負債	131,231	18.7%	52,063	4.4%	△79,168
長期借入金	130,446	18.6%	51,278	4.4%	△79,168
純資産	337,027	48.1%	881,923	75.3%	+544,895
負債・純資産合計	700,818	100.0%	1,171,979	100.0%	+471,161
(自己資本比率)	47.9%	-	75.2%	-	-

キャッシュフロー計算書(2025年9月期)

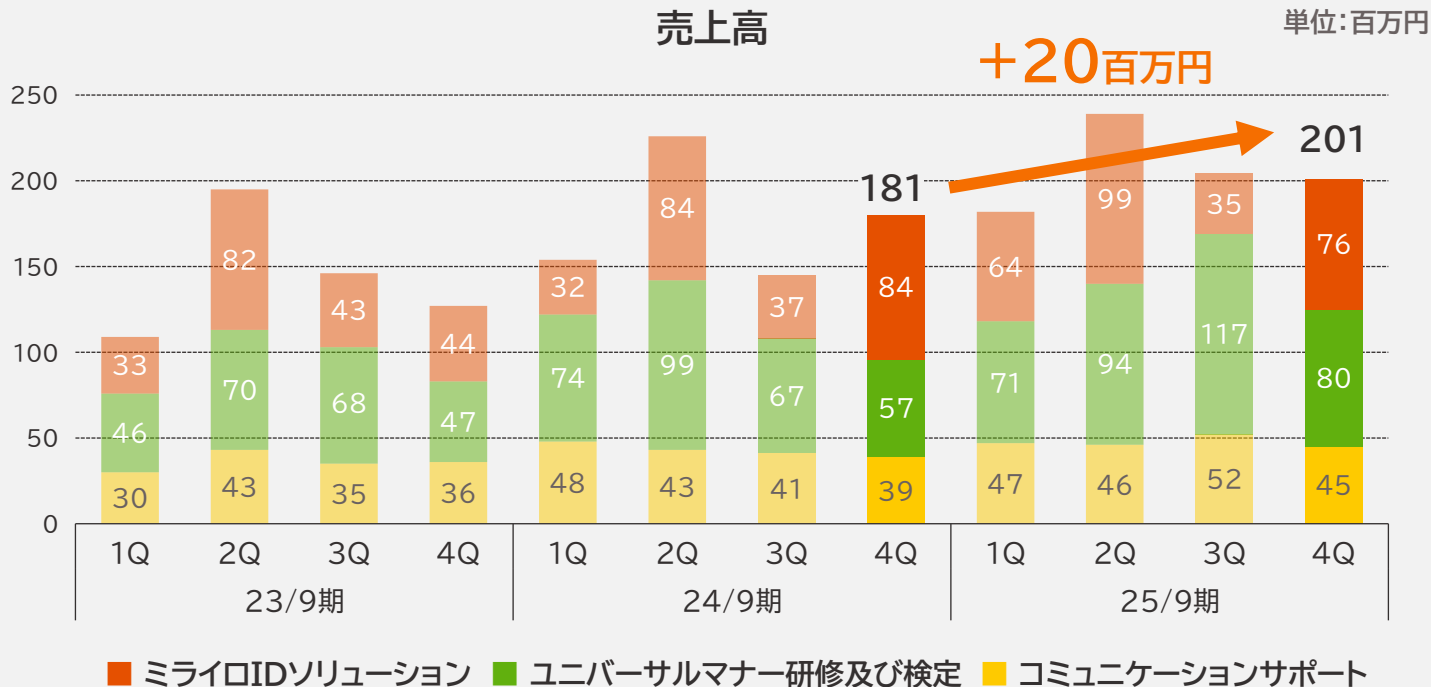
営業活動によるキャッシュフローは179,057千円と前事業年度より増加。

株式の発行による収入388,704千円に伴い、現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ482,253千円増加。

(単位:千円)	2024年9月期	2025年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,801	179,057
税引前当期純利益	121,334	123,006
減価償却費	27,673	31,388
上場関連費用	—	13,074
売上債権の増減額(△は増加)	△28,181	△11,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,912	△41,025
無形固定資産の取得による支出	△35,603	△37,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,037	344,221
長期借入金の返済による支出	△37,037	△98,608
株式の発行による収入	—	388,704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	62,851	482,253
現金及び現金同等物の期末残高	421,763	904,017

四半期ごとの業績推移

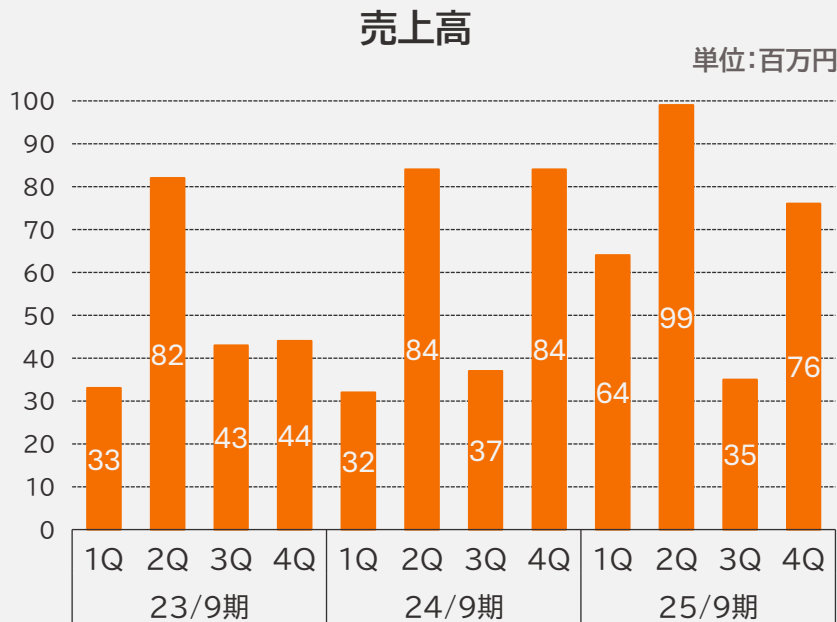
第4四半期単体では、ユニバーサルマナー研修及び検定事業の成長に起因して、売上高は前年比111.5%の着地。
いずれの四半期においても前年比で成長していることで、通期においても前年比117.3%で成長。



ミライロIDソリューション事業

粗利率の高いマーケティング支援が成長を牽引し、通期の売上高は前年比115.9%の成長。

ミライロIDのユーザー数は前年比で15.7万人増加し、55万人を突破。プラットフォームとしての影響力がさらに高まる。



■マーケティング支援

- ・ 通期で前年比157.5%と大きく成長
- ・ クーポンや広告で強い引き合いが継続

■システムの連携及び開発

- ・ 開発予定の案件が一部失注により前年比83.1%の着地
- ・ 駐車場精算機とのAPI連携数は207箇所と順調に増加

■リサーチ及びコンサルティング

- ・ 大阪・関西万博の案件等もあり、前年比109.8%の着地

■関連数値

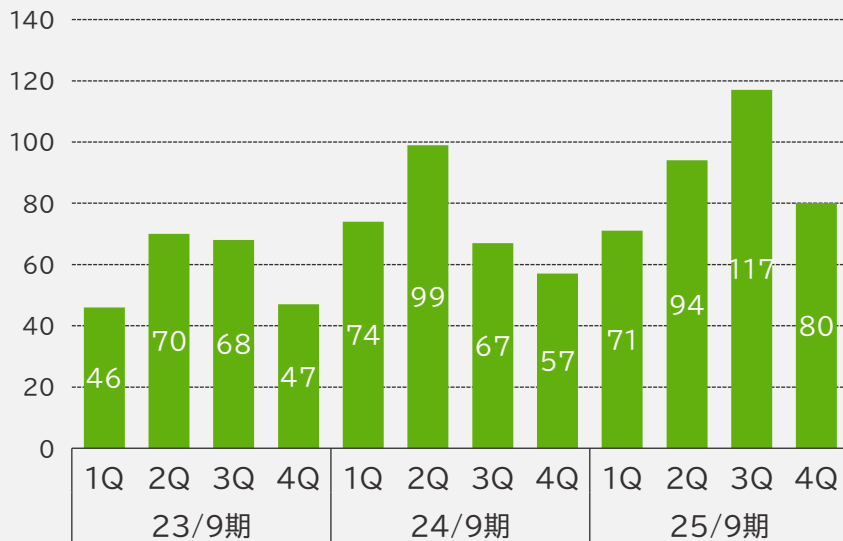
- ・ 導入事業者数 : 4,214事業者
- ・ ユーザー数 : 55.2万人
- ・ 毎月約1万人のユーザー登録を持続

ユニバーサルマナー研修及び検定事業

法人での大規模受講が積み上がり、通期の売上高は前年比122.1%で着地。業界向けのユニバーサルマナー検定として、新たに「ユニバーサルマナー検定(村上学縁)」をリリース。ライブやコンサート会場での対応方法など、個人向けへの認知拡大や受講者数の増加にも寄与。

売上高

単位:百万円



■ユニバーサルマナー検定

- ・「ユニバーサルマナー検定(村上学縁)」を新たにリリース
- ・ヤマト運輸株式会社にて、所属する配達員5.2万人がユニバーサルマナー一定を受講
- ・鉄道、物流、金融と各業界で先行企業からの横展開が加速
- ・既存顧客のリピート率も引き続き高い水準を維持

■検定の認定者数

- ・前年比で8.3万人増加し、認定者数は30万人を突破。市場環境の追い風を実感。

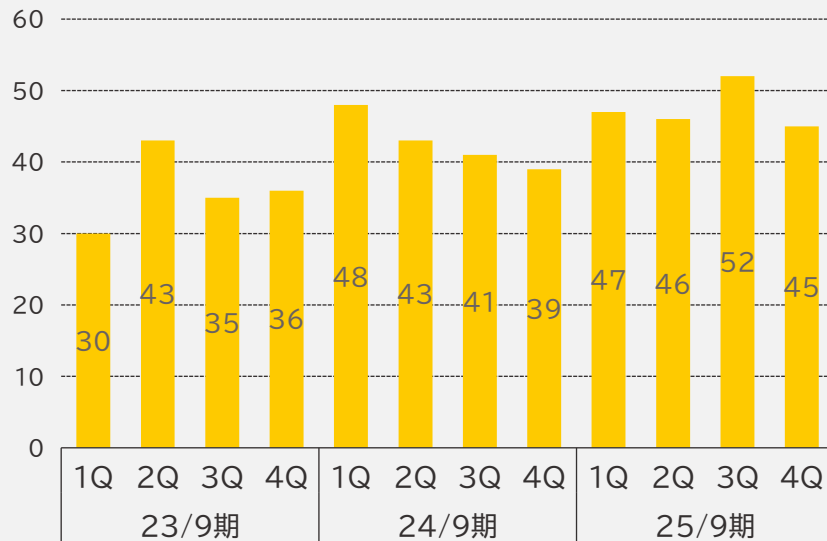


コミュニケーションサポート事業

障害者差別解消法の改正や障害者の雇用者数の増加に伴う引き合いが増え、通期の売上高は前年比110.9%で順調に成長。
2025年11月に開催されるデフリンピックに向けて、関連イベントでの需要増を見込む。

売上高

単位:百万円



■電話リレーサービス

- 電話リレー法に基づく、電話リレーサービスを継続的に受注

■遠隔手話通訳サービス

- 大阪・関西万博の運営参加に協力し、来場者向けに遠隔による手話通訳サービスを提供
- 株主総会等の企業イベントでのニーズが増加
- 多言語通訳サービスとの連携を強化

■文字通訳サービス

- 帝国劇場での文字通訳を提供。上演された、帝国劇場 CONCERTの8公演において文字通訳を提供。

トピックス

上場後も様々な取り組みを進め、継続的にPR情報を発信。

業界ごとの主要な顧客への導入の拡がりや新たなソリューション開発が進行し、社会的な影響力も強まる。

2025年4月

- 04/09 ミライロが大阪・関西万博の運営参加に協力！
「遠隔による手話通訳サービス」の提供を行います
- 04/10 業界初！東名プレースが「ミライロ ID」の補装具管理機能を採用！
- 04/22 デジタル障害者手帳「ミライロID」が、大阪・関西万博にて
障害者手帳と同様の確認書類として採用されました
- 04/23 当社の運営する「ユニバーサルマナー検定(鉄道)」が
京阪電気鉄道株式会社の駅係員・乗務員対象に導入されました

2025年5月

- 05/12 国内空港初！成田国際空港が「ミライロ ID」と連携した
バリアフリーソリューション「VEEMO Welfare」を導入しました
- 05/23 経済産業省が公開した「合理的配慮に関する国内企業における実践事例集」
に当社の提供するソリューションの活用事例が掲載されました
- 05/30 三菱UFJ銀行の新入行員635人に「体験型の多様性研修」を提供しました

2025年6月

- 06/09 大阪・関西万博における「触知図」の取り組みが、産経新聞にて
紹介されました
- 06/13 デジタル障害者手帳「ミライロID」のユーザー数が50万人を突破しました
- 06/27 ユニバーサルマナー検定の認定者数が累計30万人を突破しました

2025年7月

- 07/04 代表の垣内が「Top 10 of Asia」にて、アジアで最も影響力を持つ
障害のある起業家トップ10に選出されました
- 07/18 日本DX大賞2025 SX部門で優秀賞を受賞しました
- 07/28 Google Play の「注目」アプリに、デジタル障害者手帳「ミライロID」が
選定されました

2025年8月

- 08/05 「ミライロ ID」のライフプラットフォームにセブン-イレブン・ジャパンが参画
宅配サービス「7NOW」で使えるミライロクーポンの提供を開始します
- 08/22 銀行業界初！名古屋銀行の全行員がユニバーサルマナー検定3級を取得

2025年9月

- 09/01 「ミライロID」対応の駐車場が累計200箇所を突破しました
- 09/11 新たに「ユニバーサルマナー検定(村上学縁)」を制作し
9月12日より受講期間が開始します
- 09/16 日本通運が「誰にもやさしい倉庫」プロジェクトで
「ミライロ・リサーチ」と「ユニバーサルマナー検定」を導入

2026年9月期 業績予想

2026年9月期における業績予想。

各事業ともに成長を継続しつつ、収益性や生産性の向上により、利益率のさらなる向上を目指す。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
940百万円	631百万円	200百万円	201百万円	135百万円
前年比 112.9%	前年比 113.3%	前年比 140.7%	前年比 163.4%	前年比 165.7%

業績予想 トピックス

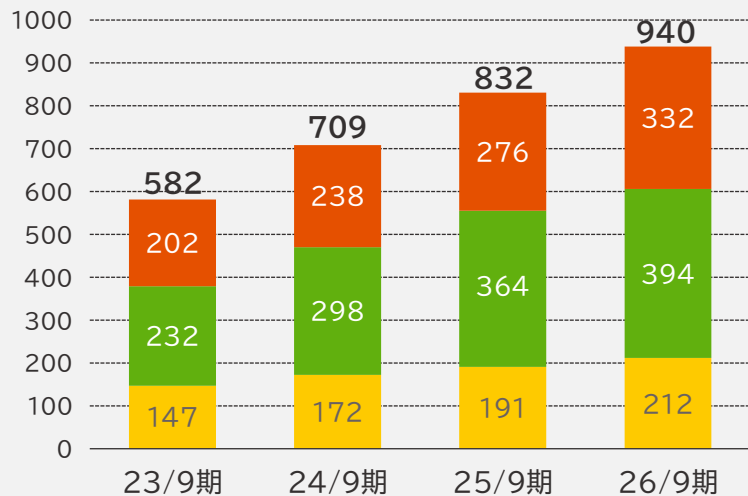
- ・ 売上高は112.9%、営業利益は140.7%の成長を計画
- ・ 営業活動の見直しや教育体制の整備により収益性の向上を目指す
- ・ 2026年7月からの法定雇用率の引き上げや、東京2025デフリンピック開催に伴う機運の高まりなど、引き続き外部環境の追い風を活かす

通期業績推移

2026年9月期の通期業績予想は、売上高940百万円(前年比112.9%)、営業利益は200百万円(前年比140.7%)。継続した売上高、営業利益の成長を見込む中、特に利益面において力強い成長を目指す。

売上高

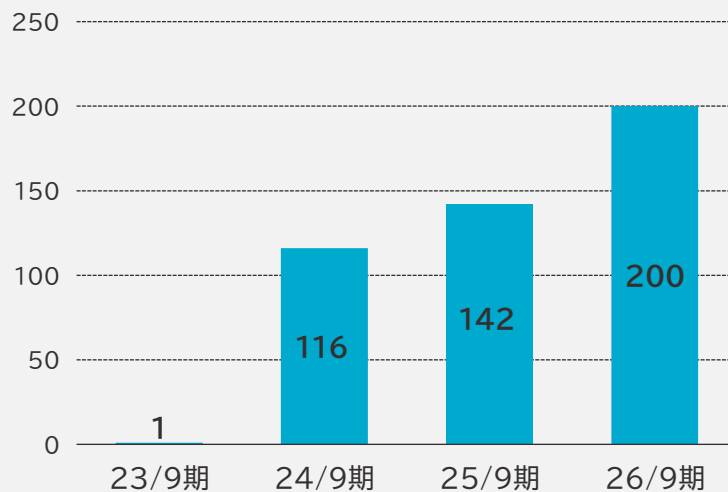
単位:百万円



- ミライロIDソリューション
- ユニバーサルマナー研修及び検定
- コミュニケーションサポート

営業利益

単位:百万円



2026年9月期の重点施策

ミライロIDのユーザー数の拡大



自治体への発信を強化することとおして、障害者への認知拡大とユーザー数の増加を図る。

業種別の検定プログラムの展開



ユニバーサルマナー検定を基に、各業界に特化したコンテンツの構築と横展開を行う。

各業界での先進事例の創出



コンビニでのオンライン手話通訳サービスの導入など、障害者対応に関する業界毎の課題を把握し、伴走することで新たな事例を創出。

ミライロID Global



国内の障害のある外国人旅行者の声を導入事業者を通して収集し、グローバル展開を見据えたサービス開発を実施。



大阪本社…大阪市淀川区西中島三丁目8番15号
東京支社…東京都品川区東五反田五丁目26番5号

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用する
スクリーン・リーダー(コンピュータの画面読み上げソフトウェア)では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があります。
「障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。